

# 大雨への備えを



## 大雨への備えを

問い合わせ 総務課行政係 (☎028218)

■**長雨や大雨、集中豪雨に注意**  
まもなく梅雨に入り、梅雨前線による長雨や大雨などにより、河川のはんらんや土砂災害が発生しやすくなります。

なかでも短時間に狭い地域に集中して降る「集中豪雨」は特に注意が必要です。突発的に降るため予測が困難で、大きな被害をもたらすことがあります。危険を感じたら、自主的に安全な場所に避難してください。

■**自主防災組織の結成を**  
大規模な災害に対して、最も素早く、そして組織的に活動できるのが自主防災組織です。地域の皆さんが協力して活動することで、被害を最小限に食い止める力も一層増すことになりま

す。市では、町内会を基本単位として、自主防災組織の結成を促進しています。自主防災組織の話やアドバイスをしますので、総務課までご相談ください。  
また、日ごろから防災意識をもつことも大切です。「洪水ハザードマップ(上の写真)」を活用し、家庭や地域で話し合いをもってください。そして、今一度、避難場所や避難経路、非常持ち出し品を確認しておきましょう。



**暴力団員の市営住宅の使用制限**  
確認書を調印し

市と総社警察署は、暴力団員の市営住宅の使用制限に関する確認書を4月23日、総社警察署で調印しました。  
これは、市営住宅(15か所、463戸)の生活の安全の確保をはじめ、不正使用や家賃の滞納防止のため取り交わされたもの。確認書には、市から警察署へ暴力団員かどうかの照会や、暴力団員が入居していると分かった場合の警察署からの情報提供やその対応などが定められています。

片岡市長と日田総社警察署長が署名・押印し、確認書を取り交わした

問い合わせ 都市計画課 繕住宅係 (☎028287)



右の写真は、総社大橋の橋脚に表示されている洪水時の河川の水位を表す目盛り。警戒や避難の目安となる

# 地域・文化・自然が共生・自立する生活交流都市

個性あるまちづくりのための指針で、おおむね20年先(平成37年)、将来人口7万人を見据えた「総社市都市計画マスタープラン」が、3月にまとまりました。将来像は、「地域・文化・自然が共生・自立する生活交流都市」。都市づくりの基本目標としては、「便利で機能的」「環境と調和した適性規模」「誰もが安全・安心に暮らせる」「活力ある産業が充実」「うるおいある環境・歴史文化と共生」「市民との協働」の6つが示されています。

具体的な方針は、市全体と、東西南北で分けた4つの地域ごとにまとめました。市全体では、土地利用のあり



方をはじめ、市街地・住環境、交通施設、公園・緑地、下水道・河川、都市景観、自然環境などのテーマごとに、基本的な考え方や取り組み内容を示しています。また、そのことが分かりやすく理解しやすいように、該当する

区域や拠点を色分けし、地図に表示しています。

地域別では、地域づくりのテーマや目標とともに、土地利用や住環境整備、安全・安心などについての地域ごとの方針を示しました。その概要を、次ページ以降でお知らせしています。

これらの実現のためには、市民との協働をはじめ、大学や事業者も参画した連携のなかで推進が必要とされています。

「総社市都市計画マスタープラン」は、都市計画課の窓口や市のホームページで見ることができます。

問い合わせ 都市計画課 都市計画係 (☎028318)

# 都市計画

個性あるまちづくりの指針

# マスタープラン

